別紙

令和８年度校区まちづくり交付金　交付決定助言書
【北山本小学校区まちづくり協議会】

〔交付決定にかかる条件〕

※下記に記載の〔交付決定にかかる条件〕については、年度内の活動の中で実践や実施に向けた検討を進めてください。その実績や検討状況については、実績報告書に記載いただき、ご報告ください。

○チャレンジメニュー①：1-①「自助」の取り組みの定着・促進

・令和７年度交付金申請の際の公開プレゼンで、「自助」が不十分というアンケート結果から取り組みを始めたとお話しされていました。その検討にあたり、効果検証の実施についてご検討ください。

○チャレンジメニュー②：1-②子どもの参画

・4 年生から始まるので、子どもにとっては 3 年間の取り組みになります。翌年には前年の学習を踏まえたステップアップとなるような内容についてご検討ください。また、活動成果を活かした家庭や地域での取り組みやそのフォローアップについてもご検討ください。

○チャレンジメニュー③：2-④組織基盤の強化

・町会加入促進は年 1 回のイベントだけでなく日常的な取り組みとの相乗効果が重要ですので、幅広い実施についてご検討ください。

○取り組み名称①：青色防犯パトロール

・当該事業の対象・ねらいは、「小学生の交通事故防止」となっていることから、効果の見える化を図ることができるようにご検討ください（たとえば校区内の事故件数を青パト導入時よりグラフ化するなど）。
また、効果検証のために、交通事故等の前年度比較による目標設定についてもご検討ください。

・高齢化が進む地域での見守り活動については、車での安全パトロールだけでなく、車の運転を伴わない子どもの見守り活動の方法の検討と若い担い手の確保につながる取り組みをあわせてご検討ください。

○取り組み名称②：自主防災組織訓練

・「チャレンジメニュー」と重複しますが、訓練の効果検証の実施についてご検討ください。アンケート等で前年度比較することで、次年度事業の展開に活用できます。

○取り組み名称③：「こども防災士」等の育成

・昨年度に引き続いて、防災士を育成したあとどのように活躍してもらうか、その場面を具体的に想定したうえで取り組みをご検討ください。

（参考サイト）
https://www.kosodate-npo.jp/bousai/bousai_kikaku

別紙

・高学年を対象に毎年継続的に行われている事業のようですが、学習成果を活かした家庭や地域での活動やそのフォローアップについてご検討ください。

○取り組み名称⑤：ふれあい喫茶

・参加世代が高齢者世代に限定されないように、できるだけ多世代交流の場となるような工夫をご検討ください。子どもたちが企画運営することも一案です。

（参考サイト）

https://www.city.obu.aichi.jp/shisei/koho/pressrelease/1003447/1036139/1036486.html

○取り組み名称⑥：ノルディックウォーキング

・体力維持に関する効果検証の実施についてご検討ください。アンケート（自己申告）或いは筋力測定などを行うことで、参加者も従事者も手応えを感じるプログラムになります。

○取り組み名称⑦：人生１００年！健康まちづくり講座

・開催後にアンケートを実施する等、知識が身について、実践に活用できているかなどの効果検証の実施についてご検討ください。

○取り組み名称⑧：北山本小学校区健康まちづくり「健康だより」配布

・ネット印刷を利用することにより１回あたりの印刷費を抑えられる場合があります。そうすることで、年２、３回に発行回数を増やすことも可能になりますので、ご検討ください。対象者は高齢者が多いかと思いますので、情報発信の頻度は多い方が伝わりやすいと思います。

〔今後の活動にかかる助言〕

※下記に記載の〔今後の活動にかかる助言〕については、まち協活動でご活用ください。こちらの項目については、実績報告の際の実施状況等のご報告は不要です。

・「第 10 回ふれあい広場・こども広場」などの記載内容を見る限りは、校区内の団体や施設等と連携が進んでいるものと思っていますが、お互いの存在を認識した先に、どのようにして、次の具体的な「課題解決活動・地域活性化実践」に繋いでいくのか等のデザインもご検討ください。

○全体を通して

・それぞれの取り組みについて、今後、効果検証や目標設定をされることをお勧めします。全事業、継続実施事業なので、効果検証することで次年度の見直しやグレードアップ或いはスリム化など検討しやすくなると思います。

別紙

○防災二つの事業について

・地域の災害の特徴にあった取り組みになっているでしょうか。ハザードマップを見る限り、水害にやや弱い地域かと思われます。昨今、豪雨被害が全国あちこちで続発していますので、漠然と防災ではなく、水害（地域の脆弱部分の対応）を前提としたプログラムに着目し、「自主防災組織訓練」と「こども防災士」が連動した、北山本地区の特化した災害対応も検討されてはいかがでしょうか。

●青パトについて

・地域データによると令和 4 年の高齢化率が 37.51%と市平均より 9.17 ポイントも高いので、若い担い手の発掘が難しいことは察します。健康で元気な高齢者が地域を支えるしかない現状を受け止め、そのために健康寿命を伸ばすといった視点を持つことが必要ではないでしょうか。

・各事業を縦割りで実施するのではなく、特に健康福祉事業と青パト事業の掛け合わせなどでの見守り活動により、安全安心なまちづくりにつながると思います。